

# 「人のために仕事を」

飛騨特別  
支援学校 就業に関する講演

就業に関する講演会が、高山市山田町の飛騨特別支援学校で開かれ、高等部の生徒二十人ほどが働くことの意義を聞いた。

障害者の雇用を実践しているマン・トゥ・マン・アニモ（大垣市）に県教委が委託

し、県内の特別支援学校で開催。今回は親会

社マン・トゥ・マン（名古屋市）の布垣明さん（四）が講演した。

布垣さんは社会人と学生の違いを示しながら「社会人は一日のほとんどの時間を仕事、すなわち人のために使



生徒らの前で働くことの意義を説く布垣さん＝高山市山田町の飛騨特別支援学校で

っている」と説明。働く理由を「生活の維持、自己の成長、社会へ

必要なことも教えた。

の貢献をするため」と説き「どんな仕事に就いても、それは人の役に立っていることを忘れないで」とエールを送った。ル